

教育研究データ			
1. 氏名	住岡 恭子		
2. 生年月	1984年11月		
3. 取得学位	博士(教育学)		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2010年10月～ 2017年4月～	① 事例検討やグループディスカッション、グループワークなどのアクティブラーニングの手法を講義科目にも積極的に取り入れている。 ② オフィスアワーにおいて授業等の質問を受けつけている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2019年3月	① 京都文教大学 FSD ブックレットに大学初年次生対象の「大学入門」における「ともいき探求」の紹介文を寄稿した。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
① 学業領域固有の知覚された無気力と大学生活における不安や悩み、学業対処方略との関連	単著	2019年 9月	『広島文教大学心理学研究』広島文教大学心理学研究』第1巻第1号, 27-35
② 大学初年次生の「学生化」	単著	2019年 3月	『京都文教大学臨床心理学部研究報告』第11集, 17-32
③ 大学教員の属性による学生の問題への関わり方の違いの分析	共著	2019年 2月	『心理学研究』第89巻6号, 625-631
④ 学業領域固有の知覚された無気力の探索的研究	単著	2016年 9月	『教育心理学研究』第64巻3号, 340-351
⑤ 大学生の学業領域における不適応プロセスの検討	単著	2014年 10月	『東京学芸大学大学院学校教育学研究論集』第30号, 61-73

(3) 研究・作品発表	発表の 年月	発表学会 等	
① 現代の大学生はどのように学業に取り組んでいるのか？	2017年9月		日本心理学会第81回大会(久留米大学)
② 抜毛症の女兒との遊戯療法過程 － “抜き取って” 手放すしかなかった力を認められるようになること	2015年9月		日本心理臨床学会第34回大会(兵庫教育大学)
(4) 所属学会			
① 日本心理臨床学会			
② 日本精神分析学会			
③ 日本心理学会			
④ 日本教育心理学会			